

令和6年度(2024年度) 熊本日の出保育園の自己評価結果

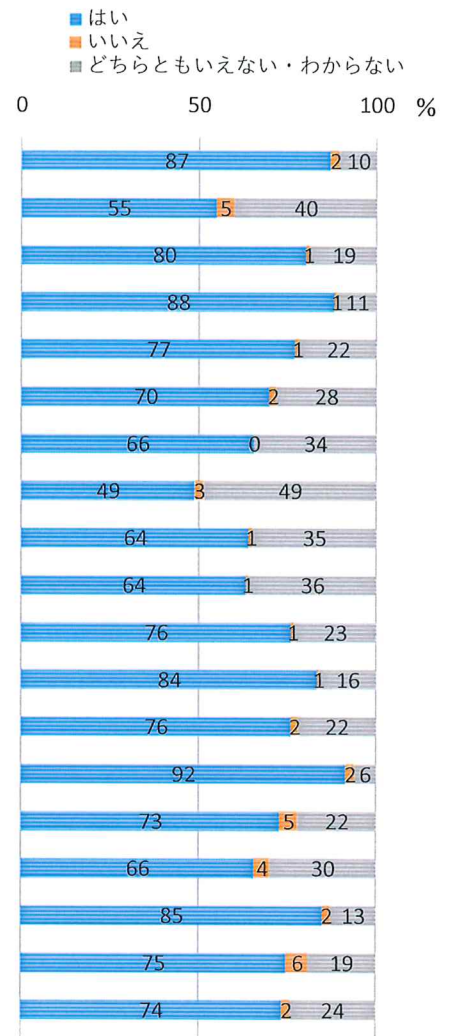
保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と明記されています。このことに基づき、熊本日の出保育園では毎年自己評価を実施していきます。また、自己評価の結果を踏まえ、今後もより良い保育を提供できるよう努力してまいります。

尚、自己評価チェックシートは別紙にて掲載しておりますので、ご参照下さい。

自己評価結果集計表

分野	回答	イ. はい		ロ. いいえ		ハ. どちらともいえない・わからない		
		回数	%	回数	%	回数	%	
1. 保育理念・保育観		87	%	2	%	10	%	
2. 保育の内容	(1) 保育計画・指導計画	55	%	5	%	40	%	
	(2) 乳児保育	80	%	1	%	19	%	
	(3) 3歳児未満保育 (1・2歳児保育)	88	%	1	%	11	%	
	(4) 3歳児以上 見保育	ア. 基礎的事項	77	%	1	%	22	%
		イ. 健康	70	%	2	%	28	%
		ウ. 人間関係	66	%	0	%	34	%
		エ. 環境	49	%	3	%	49	%
		オ. 言葉	64	%	1	%	35	%
	カ. 表現	64	%	1	%	36	%	
	(5) 特別な配慮や支援を必要とする 子ども(障がい児)の保育	76	%	1	%	23	%	
(6) 行事	84	%	1	%	16	%		
(7) 延長保育	76	%	2	%	22	%		
3. 保健活動・安全管理		92	%	2	%	6	%	
4. 保護者・地域社会・関係機関との連携		73	%	5	%	22	%	
5. 地域の子育て支援		66	%	4	%	30	%	
6. 保育園の職務・役割分担		85	%	2	%	13	%	
7. 保育士としての資質向上 (研修・研究活動)		75	%	6	%	19	%	
合計		74	%	2	%	24	%	

自己評価結果グラフ



【附則】

令和6年度(2024年度)の自己評価対象職員は22名です。

上記、結果集計表並びに結果グラフは、職員22名の回答をそれぞれ合計し、分野別に平均(%)をだした結果となります。

尚、職員22名の中で上記の項目に携わらない職員がいるため、どちらともいえない・わからない回答が多い項目があります。

【園全体の評価】

令和6年度の職員の自己評価にあたり、今年で3年目となる。毎年2~3名の職員の入れ代わりや新人の入職により、どちらともいえない・わからないのパーセントが多くみられるが、ほとんどの職員が長年当園の保育に携わっているために、自己評価を繰り返し行うことで、「はい」の項目がわずかではあるが多くなってきています。また、年々特別な配慮や支援を必要とする子ども達が増えている為、職員配置を前年度より手厚くしたおかげで、少しではあるが、ゆとりをもって子ども達一人ひとりに関わることや時間に余裕をもって接していくことができたように感じられる。以前のコロナ禍の様に行事の縮小や地域との連携が出来なかったときに比べ、今年度は各行事を充実し、地域との連携もあつたりとコロナ禍前に戻りつつあると感じられる。これからもっと保護者とのコミュニケーションを大切に、保護者一人ひとりに寄り添った対応や雰囲気づくり・地域との連携を強化していかねばならないと考えます。

【来年度の課題】

今後、今以上に良い保育を目指して保育をしていくためには、園として職員配置を手厚くするなどの対応と、職員一人ひとりが保育の原点に立ち返り、保育の必要性を理解し、子ども達や保護者一人ひとりに寄り添った保育を目指し、保育者間の連携を密に図る必要性があり、園内研修や園外研修といった研修と、地域との連携を強化していくことが必要であると考えます。